



みなさまの引き続きのご支援が必要です



温かいご支援が子どもたちの心の居場所を維持しています

活動状況

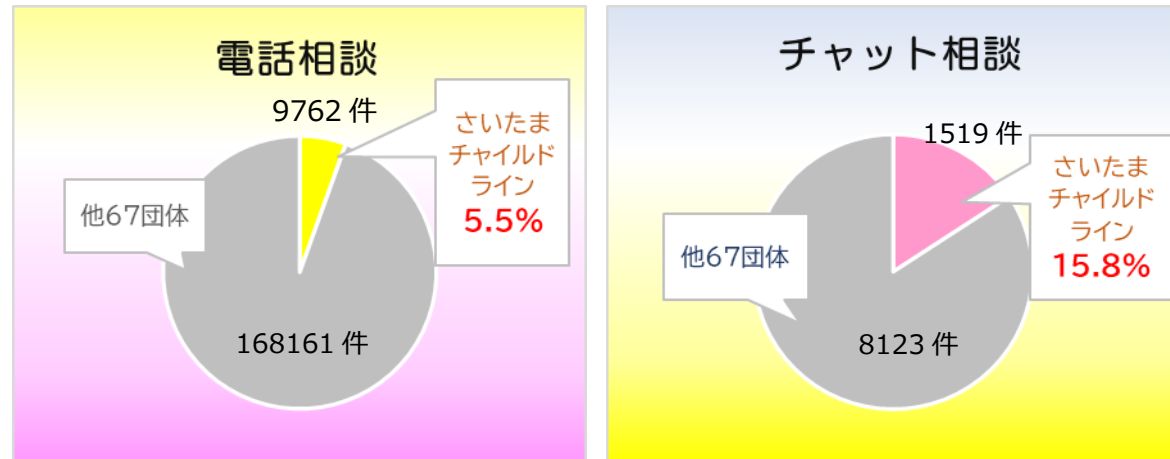
チャイルド ライン 事業

電話によるチャイルドライン
年末年始を除く毎日、午後4時～9時

チャットによるチャイルドライン
毎週水曜日・木曜日・金曜日・土曜日、午後4時～9時



さいたまチャイルドラインには約 80 名の受け手ボランティアが在籍しています。開設日数も多く、全国にある 68 のチャイルドライン開設団体の年間電話受信数 177,923 件の 5.5% チャット受信数 9,642 件の 15.8%をさいたまチャイルドライン 1 団体で対応しています。私たちはチャイルドラインのミッションである「子どもがあらひのままて安心できる心の居場所作り」を日々実践しています。



携帯電話の普及で家に固定電話がなくなり子どもの電話離れが進んでいること、またコロナ禍でのオンライン授業のため学校からタブレット等を配布されたこともあり、チャットの相談がとても増えています。私たちはチャットの受け手ボランティアを増員し応答体制を強化しています

広報事業

前頁にも記載したとおり、埼玉県内のすべての小中学校、高等学校、特別支援学校、インターナショナルスクールに名刺大の「チャイルドラインカード」を配布しています。

その数、1535校 約 86万枚になります。

毎月エリアを分けて配布を行い、電話がつながりやすいよう配慮しています。



アドボカシー 事業

埼玉県等が開催する協議会に委員として参加し、チャイルドライン事業から見える子どもの状況を提言しています。

他に「アウトリーチ事業」として“フォーラムシアター”“ネットリテラシー”のプログラムを作成し、電話やチャットを待つだけではなく子どもたちの中に入って「こんな時どうする？」と一緒に考える活動も始めています。

財務状況

助成金 47%

寄付金等 36%



様々な事業を行うための活動費は年間約 520 万円必要です。埼玉県や共同募金等からの助成金約 250 万円をいただいておりますが、その割合は 47%。活動費の半分も満たしません。一方みなさまからいただく寄付金等の割合は活動費の 36% 年間 188 万円の寄付金が必要です。

残りの 17%は「事業収益」です。チャイルドラインの事業は「子どもからの相談」に応えることなのでそこから収益は得られません。子どもたちの環境整備のため大人の方向けに学習講座等を開催しています。

寄付金・会費の受け取り状況

今年度 12 月時点の会費・寄付金受け取り金額は約 101 万円です。物価高騰が続く家計も苦しい状況と思われ、寄付金等の金額も例年より減少しています。

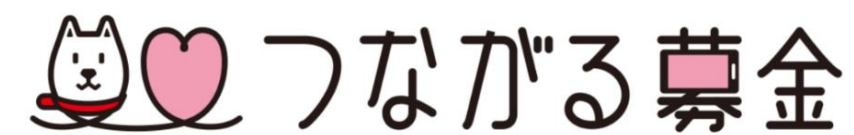
不足額は **87 万円**となっています。非常に厳しい状況です。



ご協力をお願いします

生きづらさに悩み、孤独や不安、閉塞感を抱え「消えたい」「私なんかいなくて何も変わらない、だれも悲しまない」と電話やチャットの向こうで訴える子どもたちがコロナ禍を経てとても増えていると感じています。子どもの自殺数も過去最多となり、非常に憂慮すべき状況です。

そんな子どもたちにあなたにもできる支援があります。100 円からご寄付いただけます。ぜひあなたのお気持ちを子どもたちの未来につなげてください。



ソフトバンクのつながる募金ではクレジットカード、ソフトバンクポイント等から寄付ができます

クレジットカードで寄付

金額：1 回 100 円 500 円 1000 円 3000 円 5000 円 10000 円から選べます
期間：1 回のみ 3 か月 6 か月 12 か月から選べます
※自動継続はしません 継続期間が過ぎたら再度お手続きをお願いいたします

SoftBank のポイント/利用代金で寄付 (My SoftBank)

金額：1 回 100 円 500 円 1000 円 3000 円 5000 円 10000 円から選べます
期間：1 回のみ 毎月継続が選べます ※継続寄付は自動継続となります
※ポイントでの寄付は 1 回のみ

月 500 円 年間 6000 円のご支援でできること

- 5 人の子どもと 30 分ずつお話しすることができます
- 埼玉県公立中学校 2~3 校の全校生徒にチャイルドラインカードを届けることができます